



2017年8月18日

各 位

会社名 株式会社フジオフードシステム
代表者 代表取締役 藤尾政弘
(JASDAQ コード番号 2752)
問合せ先 取締役経営管理本部長 九鬼祐一郎
TEL 06-6360-0304

「中期経営計画」の業績目標修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績を踏まえ、2016年2月26日に公表いたしました2019年12月期を最終期とする「中期経営計画 FUJIO40」(注1:創業40周年をターゲットとした4か年計画)の業績目標について、2020年12月期を最終期とする「中期経営計画 FUJIO2020」(注2:2020年を最終期とした5か年計画)に修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績目標の修正内容

	売上高	営業利益	EBITDA	店舗数
FUJIO2020 2020年12月期 (今回修正)	48,263 百万円	4,681 百万円	6,808 百万円	1,255 店舗
FUJIO40 2019年12月期 (前回発表)	50,208 百万円	5,429 百万円	7,535 百万円	1,180 店舗

2. 業績目標修正の理由

2017年8月10日に公表いたしました2017年12月期の業績予想及び直近の事業環境等を踏まえ、数値目標を精査しました結果、上記の見直しを行うこととしました。

なお、中期経営計画で掲げているビジョン、戦略の柱につきましては、大きな変更はありません。

当社は創業以来、「大衆食のカテゴリーで日本一の外食企業になる」ことを経営戦略の基本方針としております。この数年間、日本国内における既存事業を強固なものにするための店舗改装やメニュー改善、人材教育を積極的に行い、また海外事業におきましても、着実に展開を進めてきております。今後もグループ規模の拡大に注力してまいります。

【注意事項】

※上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

FUJIO 2020 中期経営計画数値および取組施策

2020年12月期の計画として、グループ合計1,255店舗、売上高482億円
営業利益46億円、EBITDA68億円を計画

15/12月期実績

グループ
店舗数 **775店舗**

売上高 **333億円**

営業利益 **23億円**

EBITDA
(営業利益+減価償却費) **39億円**

中期経営計画 取組施策

(A) 既存プラットフォームの
拡大

(B) 独立パートナー制度
FC展開

(C) 海外展開

(D) M&A
新規事業

20/12月期計画

1,255店舗

482億円

46億円

68億円

FUJIO 2020 中期経営計画数値および取組施策

計画達成に向け、下記の施策を重点的に推進

- (A) 既存プラットフォームの拡大
- ① 既存店舗の改善と改装
 - 1. 数字データに基づくメニュー改善
 - 2. 既存ブランドの更なる進化
→新たな改装パッケージの作り込みと導入
 - 3. コスト改善
 - ② 新規出店・次のメインブランドの発掘
 - ③ 人財戦略・教育、研修整備(フジオアカデミー)
-
- (B) 独立パートナー制度FC展開
- ① 独立支援制度において、年20名～30名の独立者を排出していく
 - ② FC事業においては、「まいどおおきに食堂」「串家物語」「さち福や」等を中心に展開
-
- (C) 海外展開
- ① 日本の大衆食を海外に展開
(内から外への海外展開)
 - ② 海外の人気ブランドを日本に展開
(外から内への海外展開)
-
- (D) M&A
新規事業
- ① 既存ブランド強化のためのM&A
 - ② 新ブランド確立と既存ブランド拡大のためのM&A

20/12月期計画

店舗数
1,255店舗

売上高
482億円

営業利益
46億円

EBITDA
68億円